

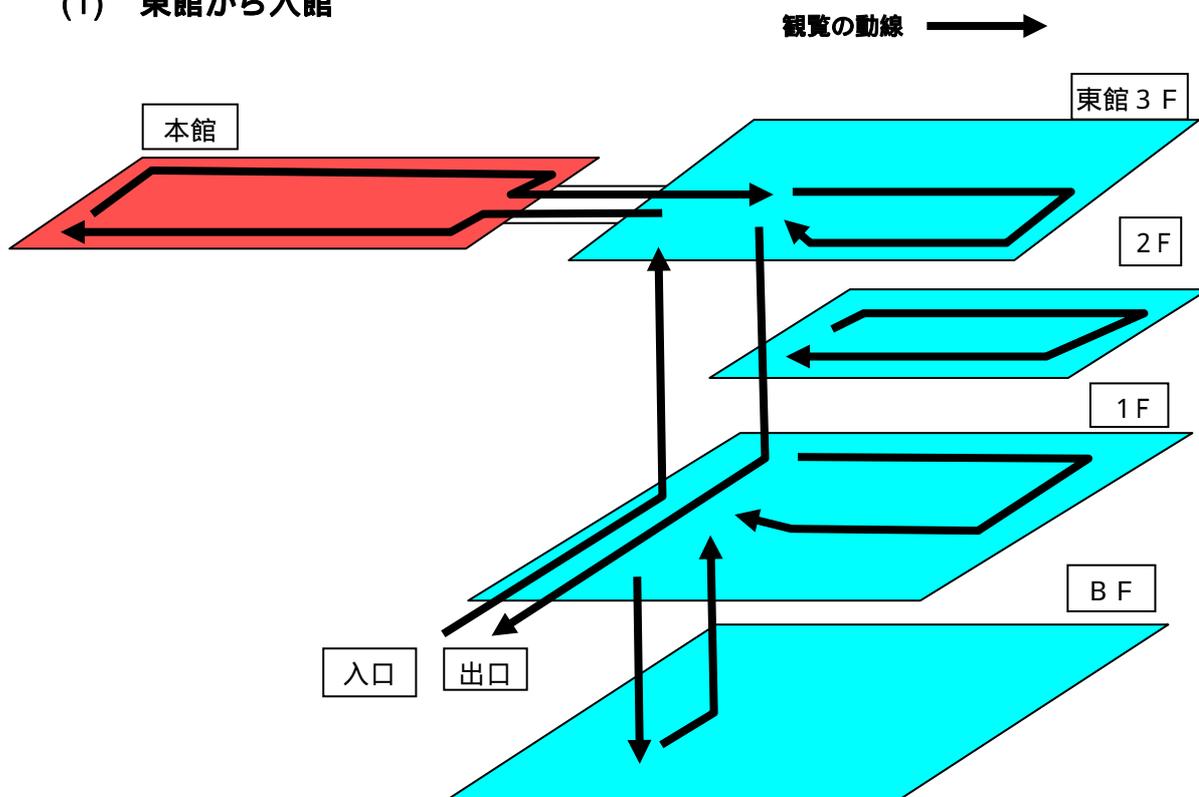
5 観覧動線と諸室配置

更新計画において、観覧の動線及び平和記念資料館入口案の検討、観覧後の心情に配慮した場の充実やミュージアムショップなど来館者サービスの向上などについて検討してきた。これらの検討結果を踏まえて、平和記念資料館の観覧の動線と諸室の配置についての試案を図示する。今後、試案を比較検討しながら、より詳細な検討を行う。

建物の表示とそれぞれに配置する諸室の案

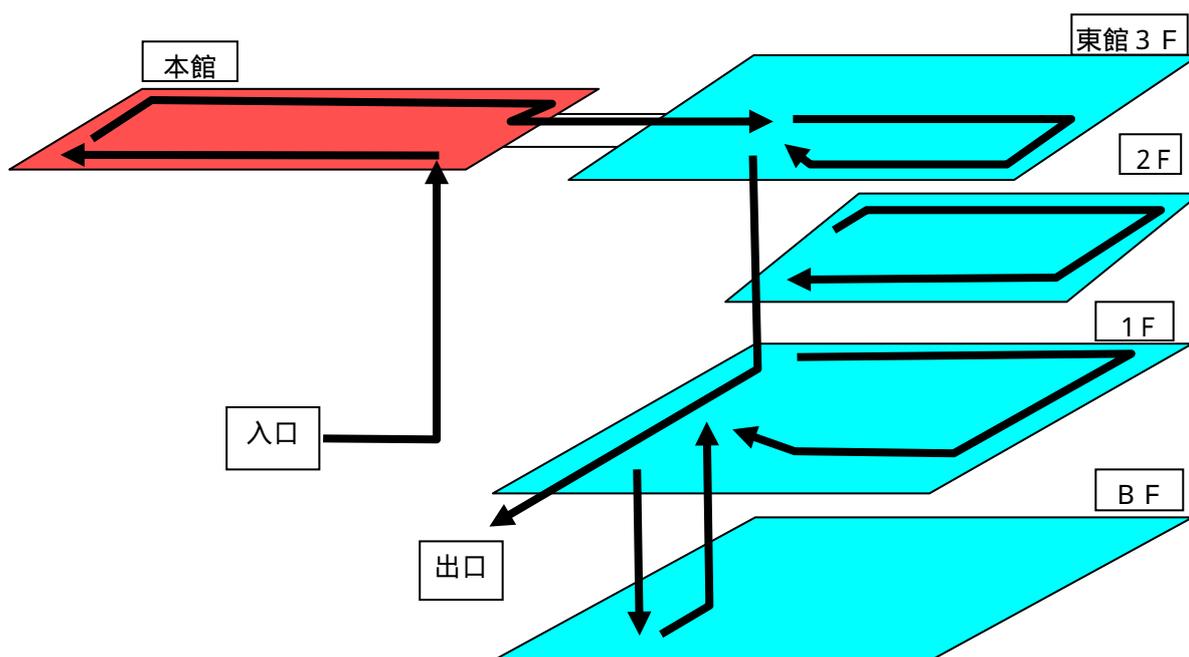
表示	建物	配置する諸室の案
	本館	常設展示室（導入展示、被爆の惨状など） 観覧後の心情に配慮した場
	東館	常設展示室（導入展示、被爆前の広島・復興、核時代・平和への歩みなど） 観覧後の心情に配慮した場、企画展示室、ミュージアムショップ、 情報資料室、ホール・会議室、收藏庫、事務室
	国際会議場	

(1) 東館から入館



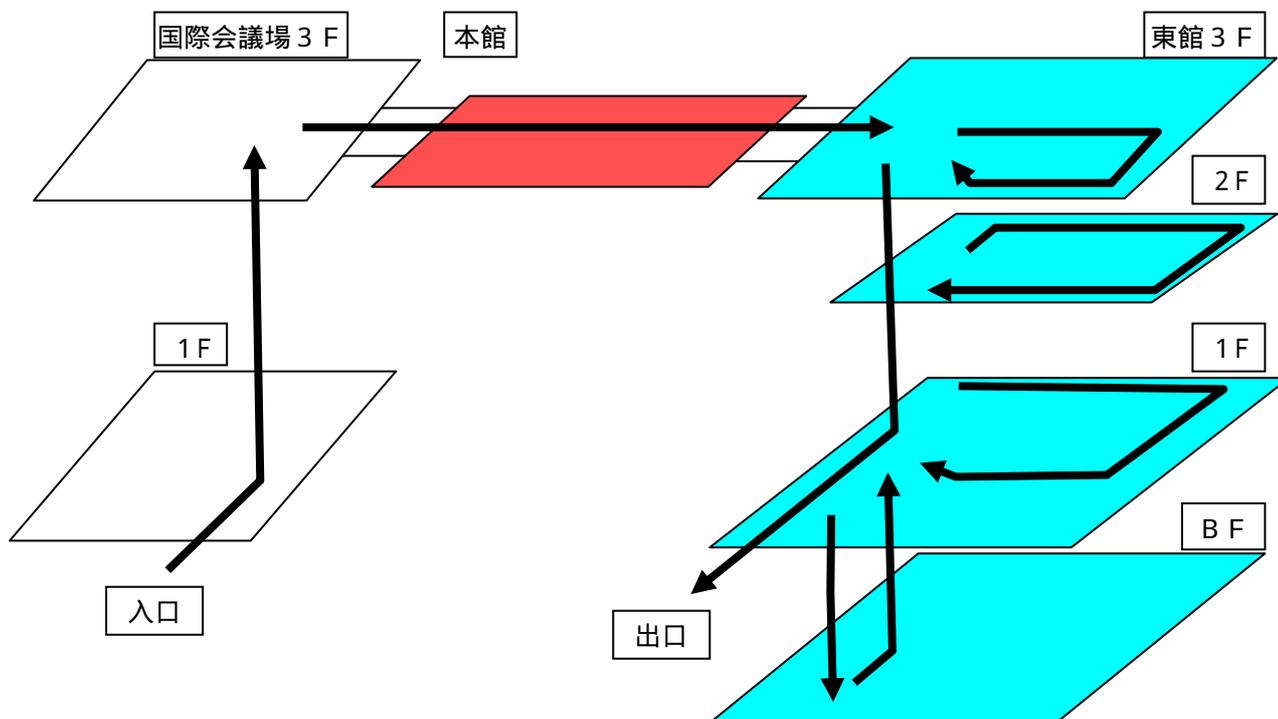
来館者は東館から入館し直接3階に上がり、本館へ移動し、被爆の惨状の展示を観覧する。その後、東館3階へ戻り、東館の展示を観覧後、1階から退館する。

(2) 本館から入館



来館者は本館から入館し、被爆の惨状の展示を観覧する。その後、東館3階に移動し、東館の展示を観覧後、1階から退館する。

(3) 国際会議場から入館



来館者は国際会議場から入館して直接3階に上がり、本館へ移動し、被爆の惨状の展示を観覧する。その後、東館3階へ移動し、東館の展示を観覧後、1階から退館する。